

【きゅうり】

東北産は天候の影響から微増する見込みだが、露地物の樹勢弱く増量は鈍い見込み。関東抑制作が本格出荷となる次週後半から相場を弱めて連休の荷動きを止めない販売となる見通しです。

【単価】 A 2800-2400 B 2500-2200

【ミニトマト】

学校給食や納め関係の注文は見られるが、関東産抑制作が潤沢な入荷となる見込みから相場は高値維持の保合相場となる見通しです。

【単価】 A L 230-200 AM 2400-2100

【ピーマン】

茨城県産秋作の入荷は微増していくが、福島県産露地作は横ばいで岩手産露地作は出荷ピークを過ぎ減少。入荷が安定していることから特売注文多く、引き合いが強いことから相場は続伸の見通しです。

【単価】 A L 90-85 AM 120-90

【インゲン】

群馬・青森県産の入荷が少ない中で本県産遅まき作は花落ちやまき直しにより緩やかな増量見込み。注文に対し不足感のある販売が続くため相場は底上げの見通しです。

【単価】 A 3800-3500